

第3次行財政改革計画の取り組み結果（平成19年度）の概要

事項		頁	主な取り組み
5 の 実 行	市民ニーズをしっかりと把握します。	1	<ul style="list-style-type: none"> 市公式ウェブサイトにおいて、「各区の情報」、「市の組織（局室）」のページを新たに公開 問合せに応じて市政情報を提供する、コールセンター「名古屋おしえてダイヤル」を平成20年2月に開設
	市民の皆様とともに市政をすすめます。	1	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全・快適まちづくり活動補助金の交付をはじめ、学区が主体的に取り組むイベント等を支援 災害発生時における地域の自主的な取り組みのための「助け合いの仕組みづくり」を明らかにし、支援のあり方を策定 高齢者の方などの荷物の運搬や乗り換え案内などを行う「ばすちか‘お助け’ボランティア」を募集
	行政評価を行い、市政を点検します。	3	<ul style="list-style-type: none"> 施設の建設、整備事業及び施設の管理運営（417事業）を対象に、事務事業評価を実施 平成17～19年度の3年間で全事務事業評価を行い、結果を翌年度予算に反映することで9.8%（186事業）をシフト
	低コストで良質なサービスを提供します。	3	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度において、事務の簡素化・集約化や委託化・嘱託化を推進することなどにより、職員数を459人（予算定員で269人、派遣職員で190人）純減 平成18～20年度の3年間で1,963人（6.6%）純減 社会福祉施設の炊事業務や学校用務・給食調理などの委託化・嘱託化を推進 市バス大森営業所の管理の委託及び地下鉄上飯田線運転業務の委託 施設のあり方や運営主体等の見直しの検討を進めるとともに、則武保育園、市立ユースホテル、青年の家（3館）を廃止
	迅速で便利なサービスを提供します。	5	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年12月に「区役所改革基本計画」を策定・公表 区役所・支所の窓口取り扱い時間を拡大 千種区、東区、名東区において戸籍電算システムを稼働 図書館オンライン新システムを開発し、平成20年1月に部分稼働

<p>創造的な改革改善に取り組む体制づくり・市民に信頼される市役所づくり</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等職務経験者採用試験の実施、再任用職員数の大幅な増加等人材確保策を充実 ・福祉施設体験研修など職員研修を充実 ・若手職員による局区室長インタビューやオフサイトミーティング手法による「市政若手懇談会」を実施 ・複雑・多様化する行政課題に迅速に対応するため、副市長を3人としてトップマネジメント体制の強化を図り、あわせて副市長の総合調整を支える体制を整備 ・市民の皆様の信頼を一刻も早く回復できるよう、「信頼回復に向けた取り組み方針」を策定
--	----------	---